

9 学力向上推進事業

昭和 59 年度から「魅力ある高校づくり推進事業」を、引き続いて昭和 63 年度から「特色ある高校づくり推進事業」を実施するなど、全人教育を基盤に据えながら、生徒の多様化に対応する教育を進め、平成 2 年度からは、「学力向上推進事業」を実施している。この事業は、「学力向上企画推進委員会による施策の立案・推進」と「高等学校の実践」を 2 本の柱としている。

また、義務教育における学力向上のための事業を平成 23 年度から実施している。

(1) 学力向上企画推進委員会

本委員会は、中・長期的展望に立って、学力向上のための具体的施策等を企画立案し、小・中・高等学校での実践に資することにした。

ア 委員会の構成

教育次長、教育総務課長、義務教育課長、高校教育課長、特別支援教育課長、教学指導課長、教学指導課義務教育指導係長、同高校教育指導係長、総合教育センター教科教育部長及び指導主事で構成される。

イ 主な業務内容

- ・小・中学校における実践の指導助言
- ・調査研究委員会への指導助言
- ・学力実態調査の実施

(2) 学力向上推進プログラム構築事業（小・中学校対象）

ア 全国学力学習状況調査希望利用採点・集計補助

平成 23 年度全国学力学習状況調査希望利用校の採点・集計を県が指定した業者に委託する際の費用の 1 / 2 を県が補助し、各校が指導改善に取り組むための情報が得られるようにした。

イ 教員の指導力向上研修

- ・組織マネジメント研修の実施（管理職研修への位置づけ）
- ・全国学力・学習状況調査分析研修（分析と活用の方法を希望市町村ごとに実施）
- ・授業スキル向上研修（校内研修への支援）
- ・家庭学習の充実研修（教育事務所ごとに実施）

ウ 学力向上のための P D C A サイクルづくり支援事業

児童生徒の学力向上をめざして、各校が指導改善に取り組む上で参考となる情報を提供することを通して、学力向上のための P D C A サイクルの確立を支援した。

- ・小学校 5 年と中学校 2 年を対象とした P 調査（4 月）・C 調査（11 月）の実施
- ・学力向上担当ミーティング（6 月・1 月）研究主任、教科主任等対象

エ クリア問題・チャレンジ問題の作成・活用

- ・ 委員によるクリア問題（主に知識・技能）・チャレンジ問題（主に活用）を毎月作成した。
- ・ 総合教育センターのホームページからのダウンロードによる活用が図られるよう、周知するとともに、活用事例などの情報提供を行った。

オ 理数教育伸長支援

- ・ 小学校理科の観察・実験出前講習会の実施（小学校教員対象）
- ・ 一流講師に学ぶ理科の実験実技講習会の実施（中学校教員対象）
- ・ 一流講師に学ぶこれからの科学教育の実施（高校生対象）

カ 学力向上推進チームによる検討、情報提供ほか

- ・ 長野県学力向上推進情報「わかる できる のびる 信州っ子」を校長・教頭を対象に発行した。
- ・ 学力向上推進プランによる目標達成型学校経営の推進を図った。
- ・ 中学校区単位の小中連携を基盤とした学力向上の情報提供を図った。

(3) 高等学校の実践内容

各学校の実態に即した学力向上のための実践が行われ、基礎学力の定着と伸びる力の伸長を図った。

- ・ 教育課程の見直し
- ・ 進学対策集中講座
- ・ 指導法の研究実践
- ・ 学習合宿の実施
- ・ 学習ソフト活用
- ・ 進路情報の活用

(4) 進路指導等研究協議会の実施

5月23日 総合教育センター 参加者 119人 対象者 高等学校進路指導主事
7月20日 総合教育センター 参加者 190人 対象者 中学校進路指導主事